

草月創流90周年記念

草月いけばな展

自然の花の中から、いけばなという別な花が咲くのだ。

2017年6月1日(木) - 6日(火) 新宿高島屋 11階催会場

いけばな草月流は、2017年6月1日(木)～6日(火)の6日間、新宿高島屋11階において草月いけばな展を開催します。



Ikebana is another flowering  
of the natural flower

創流90周年記念 草月いけばな展

自然の花の中から、  
いけばなという  
別な花が咲くのだ。

2017年6月1日(木) - 6日(火)

前期：6月1日(木) - 3日(土) 後期：6月4日(日) - 6日(火)

午前10時 - 午後8時

※6月2日(金)は午後8時30分、3日(土)は午後5時、最終日6日(火)は午後6時閉場。  
※ご入場は閉場時間の30分前までとさせていただきます。

新宿高島屋11階催会場

入場料：当日券800円(税込) ※15歳以下は無料

主催：一般財団法人草月会 URL: www.sogetsu.or.jp

総合調整：勅使河原菫(3月16日午後4時発表)

90th Anniversary Sogetsu Ikebana Exhibition

Venue: 11th Floor, Shinjuku Takashimaya Department Store

Period: June 1st (Thu.) - June 6th (Tue.), 2017

First Half: June 1st (Thu.) - June 3rd (Sat.)

Second Half: June 4th (Sun.) - June 6th (Tue.)

Opening hours: 10:00-20:00 everyday (exceptions as follows)

※ 10:00-20:00 on June 2nd, 10:00-17:00 on June 1st,  
10:00-18:00 on June 6th

※ Admission until 30 minutes before closing

Admission 800 yen (included tax)

※ Visitors who are under 15 will be admitted free.

Organizer: Sogetsu Foundation



90周年から未来へ、初代家元・勅使河原蒼風の創流の精神を今の時代にそして明日へ、現家元・勅使河原菫が約200名の出品者と共に、いけばな展のイノベーションを試みます。通常のいけばな展の概念を離れ、白い壁に囲まれたひとつの広い空間を、前期は合作、後期は小品のみで会場構成します。勅使河原菫が率いる今の草月をお楽しみください。

●新宿高島屋「創流90周年記念 草月いけばな展」概要

- 【名称】創流90周年記念 草月いけばな展  
「自然の花の中から、いけばなという別な花が咲くのだ。」
- 【会期】2017年6月1日(木)～6日(火)  
前期：6月1日(木)～3日(土)／後期：6月4日(日)～6日(火)  
午前10時～午後8時 ※ご入場は閉場時間30分前まで  
(ただし2日(金)は午後8時30分閉場、3日(土)は午後5時閉場、6日(火)は午後6時閉場)
- 【会場】新宿高島屋11階催会場
- 【入場料】当日券800円(税込)、前売券700円(税込) ※15歳以下は無料
- 【同時開催】ショーウィンドーディスプレイ  
5月30日(火)～6月6日(火) 新宿高島屋2階ウィンドー

## ●草月流第四代家元 勅使河原茜よりメッセージ

草月流の創始者・勅使河原蒼風は、「花をいけるとは、造形することであり、変化するものである」と語りました。いけばなが人間の生活と一つのものであるかぎり、いけばなの様式は、流れる水のように止まることなく変貌するだろうと考えたのです。

いけばなの精神は永遠に保存される。しかしその表現は、固定されず、つねに揺れ動き、変貌する。私たちの想定を乗り越えて、その時代時代に新たな表現を獲得していくもの。草月はいけばなをこのように捉えています。

創流90周年記念展となる本展では、蒼風の言葉「自然の花の中から、いけばなという別な花が咲くのだ。」を掲げ、前期はグループによる大作を展示し、会場全体を1つの大空間として構成します。そして後期は、60cm四方のスペースにそれぞれのおもいを凝縮した個人作を展開します。また、現代に即しいけばな表現を目指して、動画による出品席を設け、映像によるいけばな表現という未知なる領域にも挑みます。

眼差しを100周年に向けて“いけばなという別な花”を会場いっぱいに咲かせたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

勅使河原茜



(2016年6月草月いけばな展 勅使河原茜家元作品)



### 草月流第四代家元 勅使河原 茜 Akane Teshigahara

2001年4月、第四代草月流家元に就任。植物のみずみずしさを大胆に表現するいけばな作品を発表するかたわら、ダンス、音楽、書などの異分野アーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組む。28年にわたり、子どもの感性や自主性を育むためのいけばな指導に力を注ぎ、近年では花をいける過程をパフォーマンスとして演出する「いけばなLIVE」を全国で展開している。

### 草月流は、創流90周年を迎えました。

初代家元・勅使河原蒼風が形式主体のいけばなに疑問を持ち、「個性」を尊重した自由な表現を求めたことから草月いけばなは始まりました。草月のいけばなは「型」にとらわれることなく、常に新しく、自由にその人の個性を映し出します。いけ手の自由な思いを花に託して、自分らしく、のびやかに花をいけていきます。



花は、私になる。

**\* ご取材について** ご取材をご希望される方は下記 広報部までご連絡ください。

※会場・作品の撮影につきましては高島屋様への事前申請が必要となります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉 一般財団法人草月会 広報部 畑・横内

TEL: 03-3408-1158 FAX: 03-3405-4947 E-mail: pr@sogetsu.or.jp